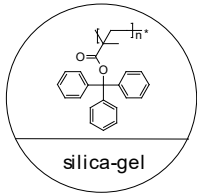
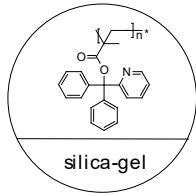




CHIRALPAK® OT(+), OP(+) カラム 取扱説明書

ご使用の前に必ずお読み下さい

カラムの詳細

名称	CHIRALPAK® OT(+)	CHIRALPAK® OP(+)
不斉識別剤	Poly(triphenylmethyl methacrylate) (シリカゲルコーティング型) 	Poly(diphenyl-2-pyridylmethyl methacrylate) (シリカゲルコーティング型) 
粒子径	10µm	
カラムエンド	ウォーターズタイプ	
出荷時の封入溶媒	100% n-ヘキサン	

(カラムは全て出荷前に品質検査を実施しています。検査条件と検査結果およびカラムロット番号は、同封の品質検査レポートをご参照下さい。)

注意:

本カラムを HPLC 装置に接続する前に、必ず装置全体（インジェクターやインジェクションループを含む）を、2 頁目記載の推奨溶媒に従った移動相もしくはカラム保管溶媒に完全に置換して下さい。（特に、オートサンプラーのシリンジやニードルの洗浄液の溶媒置換は見落としがちです。ご注意ください。）

装置中に、アセトン、クロロホルム、ジメチルホルムアミド（DMF）、ジメチルスルホキシド（DMSO）、酢酸エチル、塩化メチレン、THF など、HPLC 用の移動相として一般的に用いられている溶媒がたとえ微量でも混入していると、カラムを破壊する恐れがあります。

カラム使用条件

通液方向	カラムのタグに明示されています。
圧力 ^①	カラムを長くお使い頂くため、5MPa を超えない圧力でのご使用をお勧めします。
温度範囲 ^②	OT(+) （移動相の溶媒組成により異なります） OP(+) 0 ~ 35°C

- ① 圧力とは、カラム自体にかかる背圧の最大値のことです。この背圧は、カラムを HPLC 装置に接続し、通液した場合の系内全体の圧力から、同条件でカラムを接続しない場合の系内全体の圧力を差し引いた値になります。
- ② 使用温度範囲は 2 ページ目を参照ください。

重要注意事項

- ⇒ **本取扱説明書の内容は、他のダイセルのキラルカラムには適用できません。**
- ⇒ カラムを長くお使い頂くために、専用のガードカラムをご使用下さい。
- ⇒ 本カラムには、メタクリル酸エステル系の特殊な光学活性ポリマーをシリカゲルに担持したものを充填しています。カルボン酸およびこれより酸性度の高い試料、塩基性の強いアミン系の試料は充填剤の変質を引き起こすので使用しないで下さい。
- ⇒ カラムに強い衝撃を与えたり、カラムを分解しないで下さい。
- ⇒ 本カラムの使用に関するご質問、あるいはカラムに関するトラブルについては、キラルヘルプデスク（0120-780-104）または末尾記載の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ⇒ 本書の内容に従いカラムを取扱うことで、カラムを長くお使い頂くことができます。

推奨条件

下記以外の溶媒をご使用になりたい場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

移動相と温度

		n-ヘキサン/ 2-プロパノール	n-ヘキサン/ エタノール	エタノール	メタノール
CHIRALPAK® OT (+)	組成 (vol/vol)	100/0~50/50	100/0~0/100	100	100
	カラム温度(°C)	0~25	0~15	0~15	0~5

- メタノールが一般的に最も良い分離を与えます
- エタノールは一般的にメタノールよりも溶出を早めます。
- 本カラムは、アルコール類との接触によって、極めてゆっくりではありますが加溶媒分解を起こしますのでアルコール使用中は上記の温度を厳守し、使用後は必ず n-ヘキサンに置換し保存して下さい。
- n-ヘキサンからメタノールに置換する場合は、中間溶媒としてエタノールを 10ml 通液し、その後メタノールを 50ml 以上通液してください。メタノールから n-ヘキサンへ置換する場合は、前述の逆の操作を行って下さい。

		n-ヘキサン/2-プロパノール	メタノール/水
CHIRALPAK® OP (+)	組成 (vol/vol)	100/0~50/50	100/0~80/20
	カラム温度(°C)	0~35	

- エタノールは使用できません。
- n-ヘキサンからメタノールに置換する場合は、中間溶媒として n-ヘキサン/2-プロパノール=80/20(v/v)を 10ml 通液し、その後メタノールを 50ml 以上通液してください。メタノールから n-ヘキサンへ置換する場合は、前述の逆の操作を行って下さい。

試料の調製

- 試料は可能な限り移動相に溶かし、0.5µm 程度の多孔質メンブレンフィルターで濾過してからご使用下さい。

カラムの洗浄・保管

- CHIRALPAK® OT(+)は、エタノールを圧力 2.0MPa (20kg/cm²) 以下で 1 時間程度カラムに通液し、洗浄して下さい。
- CHIRALPAK® OP(+)は、メタノールを圧力 2.0MPa (20kg/cm²) 以下で 1 時間程度カラムに通液し、洗浄して下さい。
- 使用後は、カラム内の溶媒を n-ヘキサンに置換し、封止栓をした後、室温下で保存して下さい。

(参考) 換算表

□ 内径・流速 換算表

内径(mm)	2.1	3.0	4.6	10	20	30
流速(ml/min)	0.21	0.43	1.0	4.7	19	43

□ 圧力換算表

MPa	bar	kg/cm ²	psi
1	10	10.197	145.038
0.1	1	1.020	14.504
9.807×10^{-2}	0.981	1	14.223
6.895×10^{-3}	6.895×10^{-2}	7.031×10^{-2}	1

各キラルカラムの詳細については、
 弊社ホームページ (<http://www.daicelchiral.com/>) を併せてご覧下さい。

CHIRALCEL, CHIRALPAK, CROWNPAK は、日本、米国、EU、中国、インドにおいて登録された株式会社ダイセルの登録商標です。
日本における商標登録番号: CHIRALCEL(登録商標第 5413634 号)、CHIRALPAK(登録商標第 1814811 号)、CROWNPAK(登録商標第 5413635 号)

株式会社ダイセル

ライフサイエンス SBU :

〒108-8230	東京都港区港南 2-18-1	TEL: 03-6711-8222	FAX: 03-6711-8228
〒530-0011	大阪市北区大深町 3-1	TEL: 06-7639-7221	FAX: 06-7639-7228